

大雨の中で収穫祭、松尾市長も来場

広町緑地の第6回収穫祭が11月19日(土)、雨の中で催されました。広町田んぼ、畑、森、自然観察、散策路の会が共催で、緑地で無農薬・有機栽培で収穫した食材を使い、おにぎり、お餅、芋煮、みそ田楽、焼き芋を用意し、畑の産物を利用するひょうたん工芸、稲藁を使う正月飾り、ミニ門松の各教室も開きました。

しかし、11時の開場時刻が近づくとつれ、雨が激しくなり、来場者は前年の511人を大幅に下回る100人足らずにとどまりました。このため、おにぎり班は予定の500食を190食に抑えるなど、計画をやや縮小しました。

鎌倉高校生17人が

ボランティア参加

県立鎌倉高校野球部、アメリカンフットボール部らの生徒17人がボランティア参加し、各調理に加わりました＝写真上。参



加した子どもたちも、やはり調理に加わったり＝写真左、販売を引き受けたりしました。

ことは初めて、鎌倉市の後援を取り付け、松尾崇市長も雨の中を4歳の長女美典(みのり)ちゃんを連れて来場され、挨拶の中で「記憶に



残る収穫祭になることでしょう』と述べられました。そのあと、知りあいと歓談しながら、芋煮やおにぎりを賞味されました＝写真右。

